

# アンコールワット 撮影ワークショップ

2023年1月21.22.23日開催  
現地集合&解散型

## Workshop in Angkor Vat

★4名以上なら好きな日程でご参加下さい。（1月24日以降）但しABC全コースへの参加が条件となります。

★日本再入国時の陰性証明書が撤廃されました。コロナ前と同様の海外旅行が再開しました。

行ってみたい世界遺産No.3位に選出された、クメールの至宝アンコールワットをめぐる撮影ワークショップを開催します！

写真家目線で見たフォトジニックなアンコール遺跡群をご案内

東南アジア最大の湖 トレサップ湖の水上村の夕景をご案内

コッカー遺跡 ベンメリア遺跡等、密林の更なる奥まで  
3コースの中から、好きなコースのみの参加も可能



### コースA:(DAY1) アンコールトム・ワット&タプローム アンコール遺跡王道コース

ホテル→タプローム→バンテアイクデイ→(昼食)→王宮→バイヨン→アンコールワット→ホテル

8時～16時 日本語ガイド付き/撮影指導あり **料金125ドル/人**

### コースB:(DAY2) コッカー遺跡群+ベンメリア遺跡 密林の奥へ絶景を撮る

ホテル→ベンメリア→(昼食)→コッカー遺跡→ホテル

8時～16時 日本語ガイド付き/撮影指導あり **料金150ドル/人**

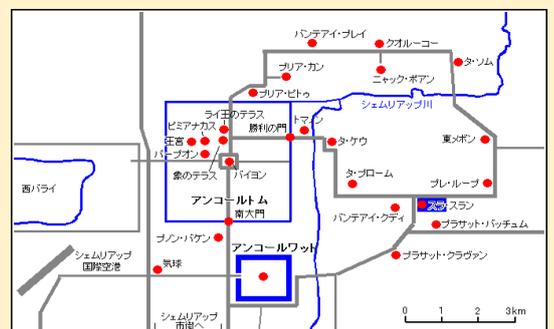
### コースC:(DAY3) アンコール遺跡東部+バンテアイスレイ クメール美術に触れる

ホテル→プリアカン→バンテアイプレイ→ニャックボアン→タソム→(昼食)→バンテアイスレイ→ホテル  
(乗用車利用)

8時～16時 日本語ガイド付き/撮影指導あり **料金135ドル/人**

### オプションワークショップ

- 1.サンライズアンコールワット AM5時～7時頃
- 2.夕景鑑賞 17～19時頃 (プレループ、プノンバケン、スラスラン、アンコールワットの何れか)
- 3.トンレサップ湖サンセット 16時30分～19時頃



## オプションワークショップ&その他料金

料金	料金 (ドル)	備考
オプション1.2	30	日本語ガイドなし/撮影指導あり
オプション3	60	日本語ガイド付き/撮影指導あり
ホテル (1泊)	約50 (実費)	朝食付き (2名まで同料金)
入場料 1日券	37	ベンメリア遺跡は別途5ドル/コーケー15ドル
入場料 3日券	62	

**最少催行人数4名様より 最大10名**

昼食、夕食は各自実費 目安5-10\$



### 1日目 (1月21日) コースA

このコースはアンコール遺跡の王道として最も人気のあるルートです。

多くのツアーでは、初めにアンコールワットを訪れますが、あえて逆ルートを辿る事で混雑を避ける事ができます。特に人気のタプロム遺跡の混雑を回避する事で印象的な風景を見る事ができます。

初めてアンコール遺跡を訪れる方にお勧めのコースとなります。

### 2日目 (1月21日) コースB

このコースは、アンコール遺跡群から北東に90km離れたジャングルの中に佇む遺跡を訪ねます。

ピラミッド構造のコーケー遺跡はアンコール遺跡群では珍しい形状です。同じく近くにあるベンメリア遺跡は、ラピュタのモデルとも言われており、ジャングルに侵食された遺跡群は、アンコールのイメージに最もちかい姿を残しています。

訪れる観光客が比較的少ないため、遺跡中心よりも静かで趣のある雰囲気です。

### 3日目 (1月22日) コースC

このコースは、アンコール遺跡北東部とバンテアイスレイを訪問します。

巨大なガルーダのレリーフが必見のプリアカン。ニャックポアンのナーガを見た後は女神像たちが並ぶタソムを訪れます。

昼食後、30km離れたバンテアイスレイへ。此処はアンコール遺跡の中でも最も彫像が美しいと言われており、深く掘られた天女像はアンコール美術を代表し、東洋の至宝とも呼ばれています。

## オプションワークショップ

### 1. サンライズアンコールワット AM5時～7時頃 (21.22.23日開催) 30\$/人

ゲート開門時間に合わせて5時にホテルを出発。アンコールワットの朝焼けを望むベストポイントへご案内します。

ベストな作品を撮るための撮影設定をお手伝いします。(要三脚)

### 2. 夕景鑑賞 (21日.23日開催) 30\$/人

アンコール遺跡内にある夕景ポイントへご案内します。17時～19時

21日と23日は異なる場所(又はご希望の場所)へご案内します。

ベストな作品を撮るための撮影設定をお手伝いします。

### 3. トンレサップ湖サンセット（22日開催） 16時30分～19時頃 60\$/人

東南アジア最大のトンレサップ湖に浮かぶ水上村をボートで訪れます。

湖上に浮かぶ集落を散策した後に、雄大な夕景を眺めます。

夕景写真の他に、湖上に生きる人たちのポートレート撮影もできます。

個人で訪れるのは比較的困難なため、オプションワークショップでのご参加をお勧めします。

#### ホテル

シェムリアップの宿泊には★★★★クラスのホテルをご用意致します。

外資系高級ホテルではありませんが、ローカル経営の清潔でリーズナブルなホテルをご用意致します。



※上は前回のワークショップで利用したLanding Gold by Amatak  
予約状況等により、他のホテル（同等クラス）になる場合もあります。

#### 参考料金 4泊5日 A.B.Cコース参加

1日目 夕方シェムリアップ到着 ホテル泊

2日目 サンライズアンコールワットオプションWS+コースA+夕景WS ホテル泊

3日目 コースB+トンレサップオプションWS ホテル泊

4日目 コースC ホテル泊

5日目 午前中買い物 午後のフライトで出発

ワークショップ代金（A.B.Cコース）合計410USD

オプションワークショップ（サンライズ1回 夕景1回 トンレサップ1回）合計120USD

ワークショップ代金合計 530USD（ホテル代、食費、入場料は別途実費）

ホテル代金 100USD/2人部屋のひとり分

入場料 82USD

航空券代金 102,000円（ベトナム航空利用東京発往復）

日本から参加の場合、上の合計金額は約198,000円程度となります。

大手旅行会社の場合、同様の内容で328,000円となります。（1月20日東京発ベトナム航空利用）

車両、ガイドの手配上2コース以上のご参加をお願いします。（A.B又はA,C又はB,C又はA,B,Cの何れか）

オプションワークショップのみのご参加はご遠慮ください。

ホテルはご自分でお手配して頂く事も可能です。その際は当日朝に指定された市内のホテルまでお越し下さい。

ツアー代金は、現地で現金でお支払い下さい。（円、ドル、バーツ可）

カンボジア入国にはビザが必要です。入国時に空港又は国境で30\$（米ドル現金のみ）お支払い下さい。

日本からご参加の場合は、出発の14日前までにご参加されるコースの代金を日本の口座にお支払い下さい。（140円/USD）オプションWSの代金は現地でお支払いください。

不明点等あればメールでお問い合わせください。

[mochidakurohei@gmail.com](mailto:mochidakurohei@gmail.com)

## 旅行保険のご加入のお願い

旅先での事故や病気に備え、必ず各自旅行保険に加入してからご参加頂きますようお願い致します。  
滞在中は、できる限り安全を心がけますが、急な環境の変化により体調を崩す方もいらっしゃいます。  
現地での病院の手配や、帰国便の変更等、できる限りお手伝いは致しますが、治療費等の負担はできかねますので、予め保険に加入して頂く事で事故や病気に備えて頂きますようお願い致します。

## 撮影機材及び事前準備について

### 機材は少なめに！

ワークショップでは、炎天下数キロの距離を歩く事もあるので、できるだけ機材は少なくし、荷物は軽くするようにしましょう。具体的には、広角ズーム1本&標準ズーム1本くらいが良いでしょう。  
早朝と夕景以外に三脚を使うケースは殆どありません。場所によってはPLフィルターを使っても良いでしょう。  
メモリーカードは事前に確認し、十分な空き容量があるか確認しましょう。  
又、予備電池、充電器、カードの予備は事前に十分な確認をして下さい。

### 事前にカメラの設定を覚える

イザ現地で撮ろうと思っても、使い方が分からない。という方は意外と多くいます。  
僕自身、自分のカメラの設定は分かって、異なるメーカーのカメラの場合は、その場で設定が分からない場合が多々あります。優先モードやISO、露出や測距点、AF-S AF-C切り替え等々、事前にご自分のカメラの基本設定を十分に確認し、事前に練習してから参加するようにしましょう。  
特に、サンライズでは暗所で設定するので、三脚の取付等事前に練習しておきましょう。

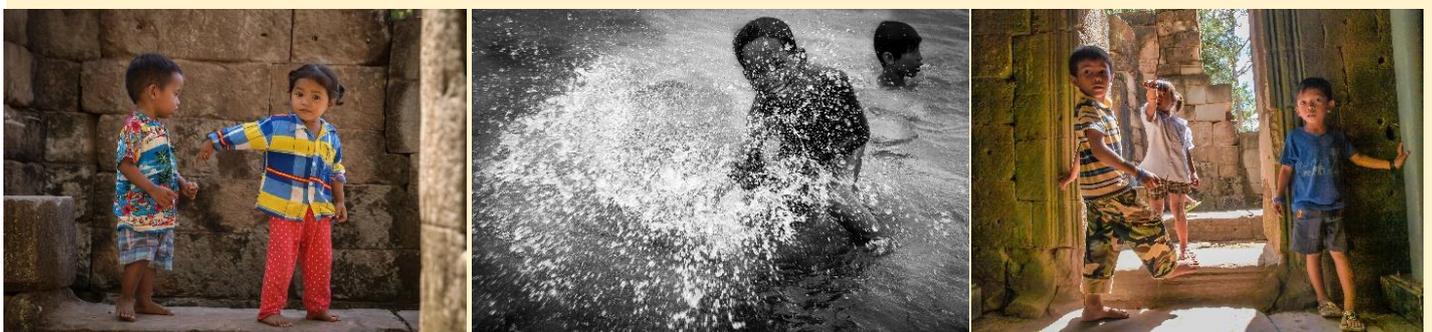
### 作例



左から アンコールワット回廊/アンコール夕景/アンコール早朝/勝利の門



左から タプロム/アンコール夕景（プノンバケンの丘より）/トンレサップ湖 水上集落



## 混雑する前の今がチャンス

### 料理を楽しもう！

アンコール遺跡群の拠点となるシェムリアップは、知る人ぞ知るグルメの町。



植民地時代の影響もあり、シェムリアップでは本格的なフレンチを安価に堪能することができます。

町の中には何と大小500以上のレストランがあり、フレンチをはじめ、イタリアン、インド、ベトナム、タイ、中華等々、勿論クメール料理も楽しめます。

特に、カンボジア産の胡椒はフランスでは「赤いダイヤ」と呼ばれ世界最高の胡椒として有名です。

シェムリアップのフレンチやイタリアンでは、この胡椒を用いたステーキなどが人気です。

特に、地鴨を用いたお料理はお勧めです。

又、カンボジアでは、お酒が安くワインや輸入ビールが安価で飲む事ができます。

レストランへのワインの持ち込み料金も2-5\$程度なので、好きなワインをスーパーで購入してそのままレストランで飲む事もできます。



ベトナムでお馴染みのバインミーはカンボジアでも一般的。

米粉の入ったフランスパンは体にもよくシェムリアップの街中の至る所で目にします。

日本やタイに比べてはるかに安価に本格的な料理を味わう事ができるシェムリアップは、コスパが素晴らしく、東南アジア屈指のグルメタウンといえるでしょう。

### シェムリアップの行き方

日本からシェムリアップまでは直行便は就航していません。

そのため、アジア各地で乗り換えが必要となります。就航している航空会社はベトナム航空（ホーチンミン経由）往復約10-12万円 片道9-10時間程度

バンコクからはドムアン空港からAIR ASIAが就航しています。（直行1時間 片道2000THB程度）